

ちきゅうにも ひとにもやさしい 下水道



下水道のはたらき



古河市総和水処理センター・古河浄化センター

下水道ってなに？

下水道は、家庭の台所やトイレなどからの汚れた水を下水道管で処理場へ集めて水をきれいにし、川などに戻す施設全体をいいます。

下水道のはたらき

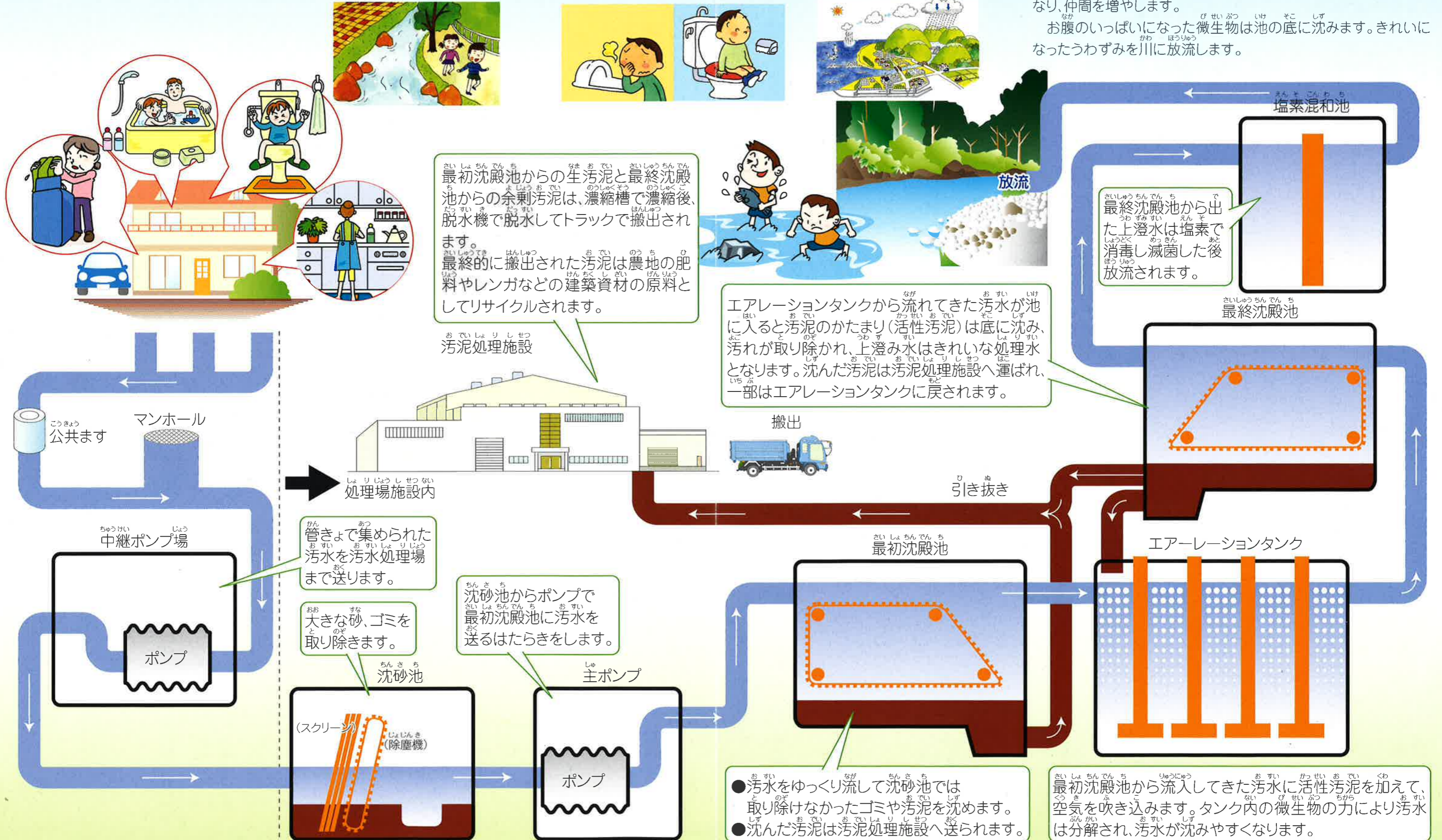
美しい自然・水質保全
汚れた水は、きれいにしてから流すので川や湖がきれいになります。

快適な生活・トイレの水洗化
きれいなトイレが使える、いやなおいがなくなります。

清潔な街・環境保全
害虫や伝染病の発生を防ぎ衛生的です。

センター(処理場)のはたらき

古河市内のセンターは、活性汚泥(微生物を含んだ泥)を混ぜて空気を吹き込むと流入水(下水道の水)の汚れを食べてくれます。微生物は流入水(下水道の水)の汚れを食べてどんどん大きくなり、仲間を増やします。お腹のいっぱいになった微生物は池の底に沈みます。きれいになったうわづみを川に放流します。



最初沈殿池からの生活泥と最終沈殿池からの余剰汚泥は、濃縮槽で濃縮後、脱水機で脱水してトラックで搬出されます。最終的に搬出された汚泥は農地の肥料やレンガなどの建築資材の原料としてリサイクルされます。

汚泥処理施設

エアレーションタンクから流れてきた汚水が池に入ると汚泥のかたまり(活性汚泥)は底に沈み、汚れが取り除かれ、上澄み水はきれいな処理水となります。沈んだ汚泥は汚泥処理施設へ運ばれ、一部はエアレーションタンクに戻されます。

搬出

最終沈殿池から出た上澄み水は塩素で消毒し滅菌した後放流されます。

最終沈殿池

- 汚水をゆっくり流して沈砂池では取り除けなかったゴミや汚泥を沈めます。
- 沈んだ汚泥は汚泥処理施設へ送られます。

最初沈殿池から流入してきた汚水に活性汚泥を加えて、空気を吹き込みます。タンク内の微生物の力により汚水は分解され、汚水が沈みやすくなります。



(平成 26 年度)

	総和水処理センター	古河浄化センター
所在地	古河市水海 1207	古河市中田新田 191-1
排除方式	分流式	分流式
処理方式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法
施設能力	20,260m ³ /日	25,700m ³ /日
供用開始	昭和 60 年 1 月	昭和 61 年 3 月
日平均処理水量	9,451m ³	18,268m ³

担当部署

古河市役所 上下水道部 下水道課 下水道施設管理室
 306-0198 茨城県古河市仁連 2065 番地
 TEL 0280-76-1511 FAX 0280-77-1512